





# 1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	<b>危険</b> 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	<b>注意</b> 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。	
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

<b>危険</b>	
全般	●運搬や据付、配線、運転、点検等は、熟知した専門家(有資格者)が実施すること(感電やけが、火災の危険) ●配線や点検などの作業時は、必ず電源を切ること(感電の危険)
据付・調整	●アース端子は、必ず接地すること(感電や火災の危険)
配管・配線	●電源ケーブルやリード線をむりに曲げたり、引っ張ったり、はさみ込んだりしないこと(感電や火災の危険) ●端子は確実に締め付け、その上を絶縁テープで絶縁すること(感電の危険)
運転	●運転中は、回転体(シャフト等)へ、絶対に接近や接触しないこと(巻き込みによる、感電やけがの危険) ●停電時は、必ず電源スイッチを切ること(電源が復帰したとき、急に回転し、けがの危険)

<b>注意</b>	
全般	●モータは、銘板や取扱説明書、カタログに記載の仕様以外の使いかたはしないこと(感電や、けがなどの恐れ) ●モータの開閉口(ブラケットやフレーム、ファンカバー)に物や指を入れないこと(感電やけがの恐れ)
輸送・運搬	●運搬時は、落下や転倒に十分注意すること(けがの恐れ) ●モータを吊り上げる場合は、有資格者が実施すること(落下や転倒によるけが、装置の破損の恐れ)
据付・調整	●モータの周囲には、絶対に可燃物を置かないこと(火災の恐れ) ●モータの周囲には、通風を妨げるような障害物を置かないこと(冷却が疎外され異常加熱による、やけどや火災の恐れ) ●モータと負荷の連結や運転前には、プーリーの平行度、ベルト張力の調整やカップリング等の締付ボルトを確実に締め付けること(部品の飛散による、けがや装置の破損の恐れ) ●回転部には触れないよう、カバーを設けること(けがの恐れ)
配管・配線	●本機に、保護装置は付いていません 安全のため、過電流保護装置や温度過昇防止装置、漏電遮断器を設置してください。 (感電や火災の防止)
運転	●運転中は、かなり高温になるため、手や体を触れないこと(やけどの恐れ)
保守点検	●絶縁抵抗測定の際は、端子に触れないこと(感電の恐れ) ●地震や火災等、異常事態の後で運転する場合は、設置状態やボルトの緩み、電源等を点検のうえ、運転すること(感電やけが、火災や装置破損の恐れ)
廃棄	●本機を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理すること

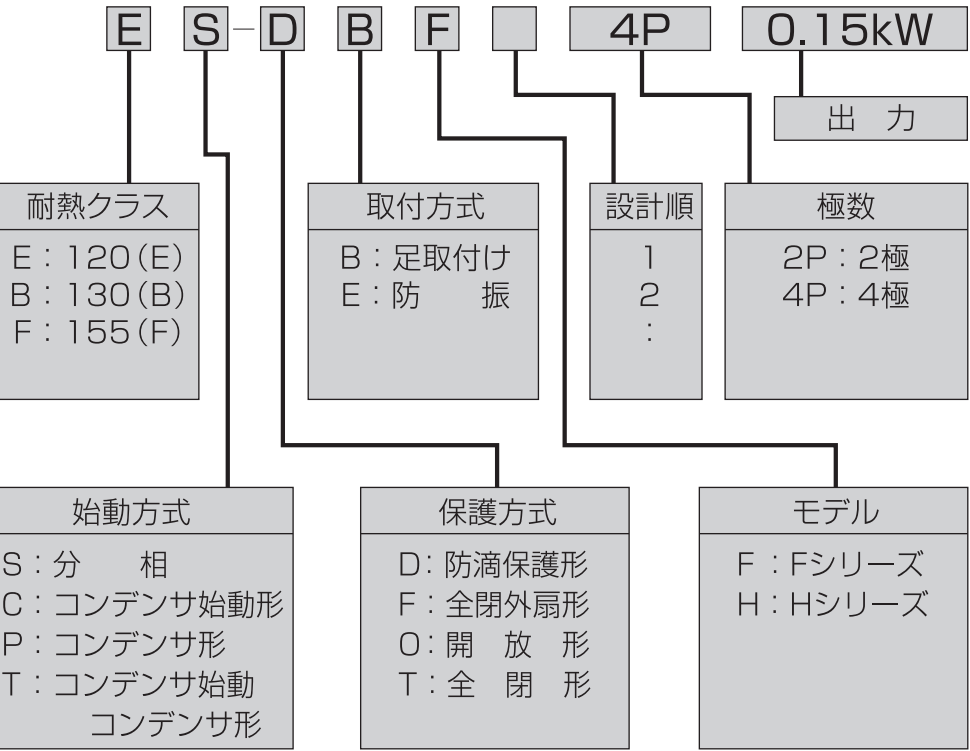
# 2. 開梱されましたら…

## ■まず、次の点をご確認ください

- 開梱は箱の上下を確認して開き、製品に損傷がないか、お確かめください。
- 銘板で、ご指定の製品に間違いがないか、お確かめください。  
(形式や出力、極数、電圧、周波数などが違うと、けがや火災の原因になります。)
- モータ軸を手で回して、滑らかに回転するか、お確かめください。  
この時、軸を素手で持つと、けがをしますので手袋などはめてください。
- 万一不都合なところがありましたら、購入店にご連絡ください。

## ■形式の確認

- 銘板(モータ側面)で、確認できます。

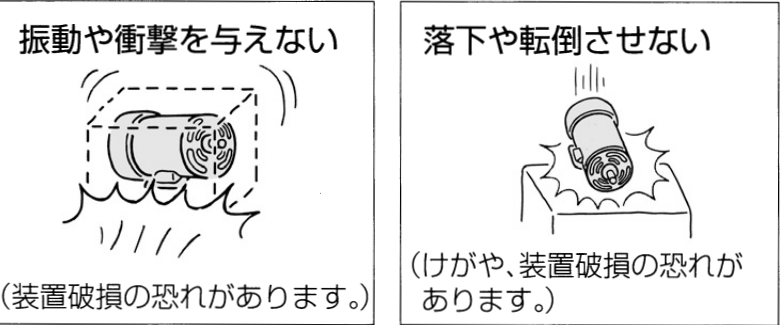


# 3. 運搬について

運搬中は、落下や転倒による、けがや装置破損が発生しないよう十分に注意してください。

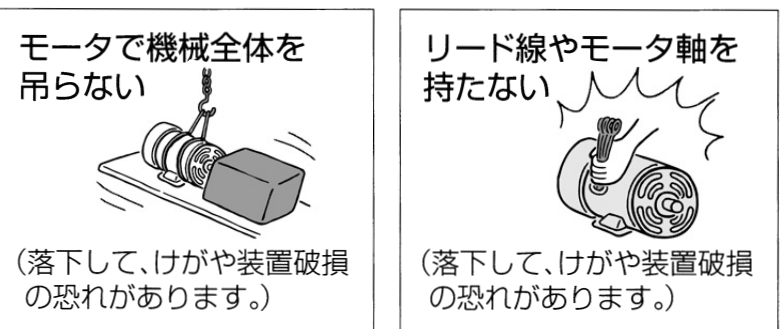
## ■運搬する場合

- 運搬中は、振動がモータにかからないよう配慮してください。  
(振動が大きいと、軸受が損傷を受ける場合があります。)



## ■モータを吊り上げる場合

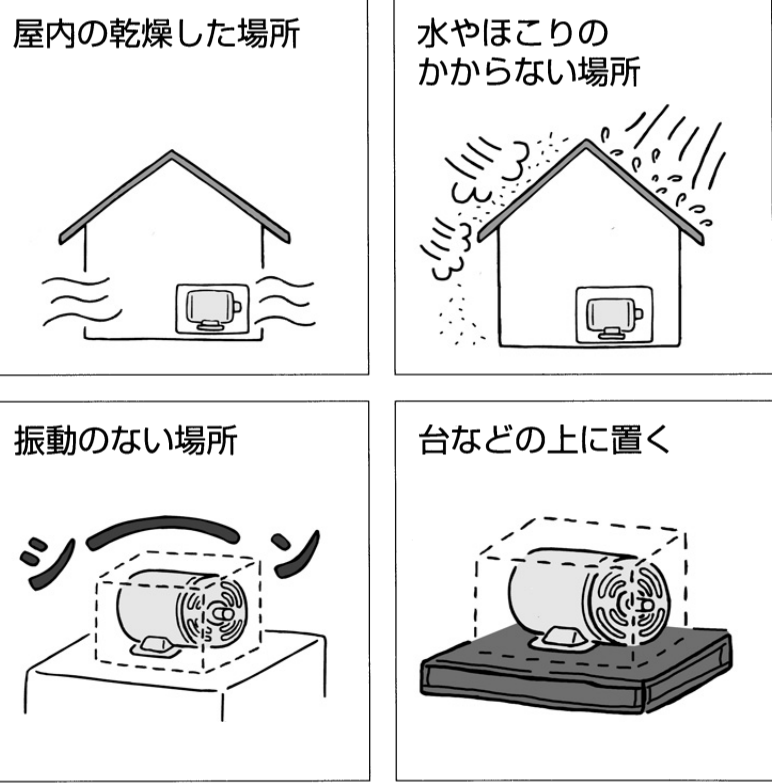
- モータには、吊りボルトが付いていません。  
作業は、有資格者が吊りベルトなどを使用して吊ってください。  
(この場合、カタログなどでモータの質量を確認し、吊り具の定格以上の質量を吊らないでください。)



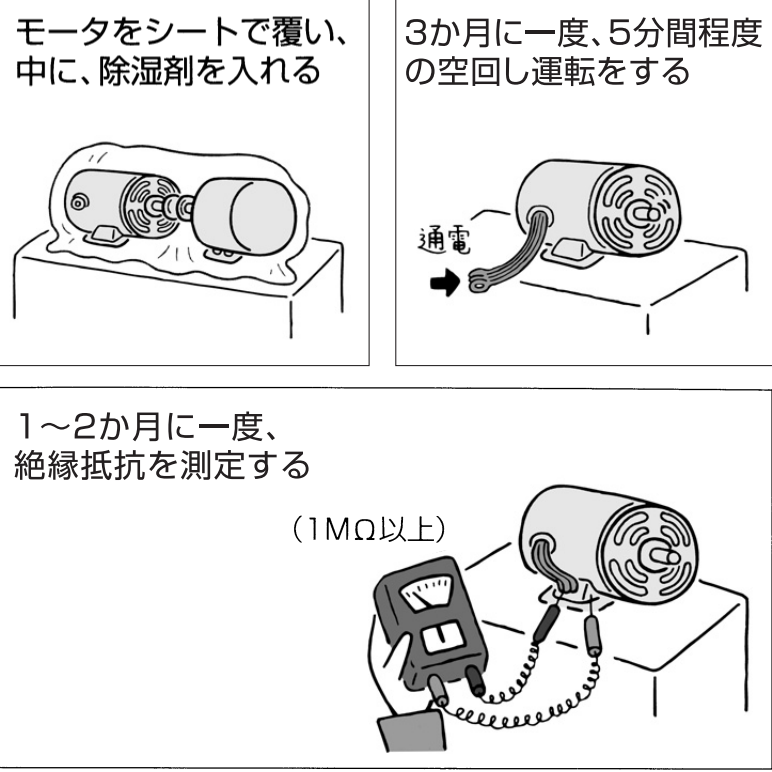
# 4. 保管について

保管状態が、モータの寿命に大きく影響しますので、次のことをお守りください。

## ■荷造りした状態の保管



## ■据付けた状態の保管



# 5. 設置場所と据付け

設置場所や据付け状態によっては、モータの寿命や性能に大きく影響しますので、次のことをお守りください。

## ■設置場所

- 基礎を強固にし、モータ軸が水平になるように設置する。  
(基礎は、コンクリートで固めるか、鉄骨などへ、基礎ボルトでしっかりと、固定する。)
- 基礎面は、床面より高くし吸湿を避け、排水を良くする。



## ■お願い

- 天井や壁にモータを取り付けしないでください。  
条件によっては落下することがあり、大変危険です。

## ■据付け時のご注意

- 据付けが不十分な場合は、モータの振動が大きくなり、軸受の寿命を縮める原因になります。

